

カタルーニャ 兵どもが 夢の跡

発表日：2018年2月1日(木)

～プチデモン氏は再任を断念か～

第一生命経済研究所 経済調査部
主席エコノミスト 田中 理
03-5221-4527

◇ カタルーニャ州議会は1月30日に予定していた州首相の選出投票を延期した。スペイン憲法裁判所の判断でプチデモン前州首相の再任が困難となったことが背景。31日には再出馬断念をほのめかす同氏のメッセージが流出。今後州議会は別の独立派の州首相の選出に切り替える可能性がある。独立派内の意見不一致でこうした取り組みが頓挫すれば、再選挙が必要となる。

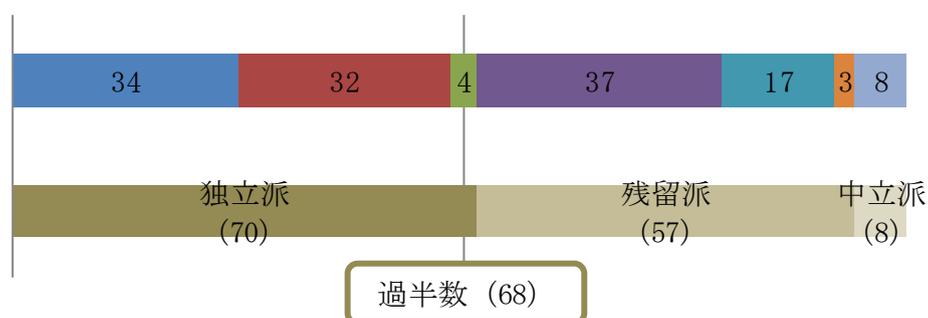
カタルーニャ州議会は1月30日に予定していた州首相の選出投票を無期限で延期した。トレント議長は国外逃亡中のプチデモン前州首相が唯一の州首相候補であるとの立場を崩していないが、スペインの憲法裁判所は27日に、①プチデモン氏が首相に就任するには施政方針演説時に議場に居合わせる必要がある、②同氏が州議会に出席するには裁判所の許可が必要である、③裁判所の見解に従わず、同氏の州首相就任を強行する場合には州議会のメンバーも法律違反を問われる可能性がある一との判断を下していた。昨年10月の住民投票後に国外で逃避生活を送るプチデモン氏がスペインに帰国すれば、国家反逆罪や不法な住民投票に公金を利用した罪で収監されることが確実視されている。同氏は滞在中のブリュッセルからビデオ会議システムなどを用いて施政方針演説を行い、そのまま国外から州政府を率いることを目指していた。だが、憲法裁判所の判断を受け、同氏の州首相への再任は難しくなった。

31日には、州議会が投票延期を決定したのと同じ30日にプチデモン氏が側近に送ったとされるEメールのメッセージが流出。望遠カメラで撮影した側近の携帯電話の画像をスペインのテレビ局が放映した。そこには「(プチデモン氏の再任を阻止しようとする)スペイン首相の計画は成功した。あなたもお分かりの通り、これで終わりだ。我々は仲間の犠牲になった。少なくとも私個人はそうだ」と記されていたと複数のメディアが伝えている。トレント議長による投票延期の決定は、プチデモン氏の再任を求める勢力からは背信行為として非難する声も浮上していた。プチデモン氏自身が州首相への再任を断念する姿勢を見せたことで、今後独立派勢力は同氏に代わる州首相候補を擁立する方向に舵を切る可能性がある。

独立派の3党は昨年12月の州議会選挙で、過半数(68)を上回る70議席を獲得した(図表1)。当選した独立派議員のうち3名が国内で拘留中、5名が国外逃亡中という異例の状況下にあるが、拘留中の議員については代理投票が認められる可能性が高い。国外逃亡中の5名のうち1名が議員を退けば、同じ党からの繰り上げ当選者が議員となるため、不在票(残りの国外逃亡者)を除いた独立派の議席は過半数を上回る(図表2)。プチデモン氏に代わる独立派のリーダーの下で、カタルーニャ州の独立や自治拡大に向けたスペイン政府への働きかけを続けることが可能となる。但し、プチデモン氏やその側近が別の候補の擁立に反対すれば、独立派が州首相選出に必要な過半数を確保することは出来なくなる。残留派も同様に州首相選出に必要な議席を有していないため、この場合は再選挙となる可能性が高い。

(図表1) カタルーニャ州議会の議席分布

- ジュンツ・パル・カタルーニャ (JuntsxCat)
- カタルーニャ共和主義左翼 (ERC)
- 人民統一候補 (CUP)
- 市民 (Cs)
- カタルーニャ社会党 (PSC)
- カタルーニャ国民党 (PPC)
- カタルーニャ・アン・コム＝ポデモ (CatComu-Podem)



出所：カタルーニャ州議会資料より第一生命経済研究所が作成

(図表2) カタルーニャ州首相選出に必要な投票数

	勾留者や 国外逃亡 者も投票	国外逃亡者5名は投票できず(※)			
		中立派が 棄権	強硬独立 派が棄権	国外逃亡 者1名が 交代	
投票数	135	130	122	126	131
過半数	68	66	62	64	66
独立派2党	66	61	61	61	62
独立派2党+強硬独立派	70	65	65	61	66
離脱派2党+中立派	74	69	61	69	70
残留派3党	57	57	57	57	57
残留派3党+中立派	65	65	57	65	65

注：緑色は過半数を上回るケース、※勾留者3名は代理投票可能と仮定

出所：第一生命経済研究所が作成

以上